



尚絅大学 尚絅大学短期大学部

オープンキャンパス企画「くまモン学イベント2023」

大学における研究や授業の魅力を広く知っていただくため、令和5年7月22日(土)オープンキャンパス企画として、くまモン学の研究成果報告、くまモン学の講義、および学生によるプレゼンテーションを行いました。

当日は、高校生、保護者の皆様、学内関係者に加え、初めて一般の方々に参加いただき、100名を超す参加者の中、賑やかに行われました。まずは、本学の教員から、くまモンそのものやくまモンが巻き起こした現象についての研究報告が行われ、来場者の皆さんも興味深そうに聞いていました。

続いて、くまモン学を学ぶ学生6グループが「くまモンファンブックの内容とクラウドファンディング」についてプレゼンテーションを行いました。

緊張しながらのプレゼンでしたが、楽しい報告や思いもよらない提案に、参加者の方々の反応で温かい雰囲気になりました。最後は、会場からの投票でグランプリ・準グランプリが決まり、受賞した学生たちは誇らしげに賞状と副賞を受け取っていました。

そしてお待ちかねのくまモンオンステージでは、参加者を大いに沸かせていました。遠方から駆けつけてくださったくまモンファンの皆様が、くまモン学を学ぶ学生を励ましてくださるなど心温まる交流が見られ、大いに盛り上がりしました。くまモンが人と人との架け橋の役目を果たしているとの研究結果が証明された場面となりました。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。今後もイベントは継続していきますので、またのご来学をお待ちしています。



©2010熊本県くまモン

令和5年度 尚絅公開講座を開講

令和5年10月14日(土)、21日(土)、28日(土)の3日間にわたり、尚絅公開講座を開催しました。

この講座は、地域に開かれた大学を目指して学修の機会を提供し、生涯教育の振興に貢献することを目的としています。

今回は「38億年の命ー予測不可能な時代を生きるー」をテーマに、計9講座を開講しました。多くの受講生の方に参加いただき、大変好評でした。

尚絅公開講座	
『外国人にも伝わる「やさしい日本語」』	現代文化学部 准教授 山川 仁子
『「がん」て何?』	生活科学部 教授 今村 隆寿
『東南アジアの多文化社会のあり方〜ベトナムを中心に〜』	現代文化学部 准教授 黄 蘊
『栄養と環境〜自分のために、地球のために、サステナブルに食べよう〜』	生活科学部 講師 澤部 加奈子
『保育者の専門性の大切さ見えにくさ』	短期大学部 幼児教育学科 准教授 片桐 真弓
『デジタル社会を生き抜くために〜子どもの教育とICT〜』	こども教育学部 准教授 中村 佐里
『脳の半分を占めるグリア細胞 〜「非」神経細胞が頭と体と心をつなぐ〜』	短期大学部 食物栄養学科 教授 清水 健史
『Co-Renovation 〜リノベーションを契機としたコミュニティ形成〜』	短期大学部 総合生活学科 准教授 竹下 正高
『くまモン学の学び』	現代文化学部 教授 柳田 紀代子



©2010熊本県くまモン

令和5年度 夏季キャリアガイダンス開催



企業研究・業界研究を目的に、大学3年生と短大部1年生を対象にした「WEB合同会社説明会」を令和5年9月25日(月)からオンデマンド形式で開催しました。また、これから始まる就職活動での面接の場で、学生がしっかり実力を発揮できるよう、現時点の自身の実力を測り、成長を促すための「模擬面接講座」を令和5年9月22日(金)に開催しました。今年度は同講座と並行して「リクナビSPI試験対策講座」と「JAL客室乗務員によるマナー講座」を実施し、就職支援をより一層強化しました。

こども教育学部の先生3名が 韓国の学会で発表&受賞しました

令和5年10月12日(木)・13日(金)、こども教育学部の鄭英美教授、大江登美子准教授、中村佐里准教授が韓国の国立木浦大学で開催された韓国体育学会学術大会に参加しました。13日の韓国発達学会分科会での口頭発表では、鄭教授は最優秀発表賞、大江・中村准教授は優秀発表賞を受賞しました。韓国発達学会会長をはじめ、韓国各地の大学の先生方と意見交換し、日韓の素晴らしい学術交流を行うことができました。



発表会場で学会長や会員の皆さんと



会場の木浦大学ホール前で学会長らと

こども教育学部の学生が 釜山大学と仁済大学を訪問しました

令和5年9月16日(土)～20日(水)、こども教育学部の1年生6名と鄭英美教授が韓国の釜山大学と仁済大学を訪問し、幼児教育を学ぶ学生たちと交流しました。交流会や附属幼稚園の訪問、博物館や体験施設なども訪れ、韓国の文化にも触れながら親交を深めました。

異文化に触れ、幼児教育について国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。友達になった韓国の学生とは、これからも交流が続くことでしょう。



仁済大学の交流会



釜山大学附属幼稚園訪問



釜山大学の学生たちと

グローバル化推進センター

第41回全日本中国語スピーチコンテスト (熊本県大会) で最優秀賞を受賞しました

現代文化学部4年生の宮本愛香さんが、令和5年10月22日(日)の「第41回全日本中国語スピーチコンテスト」熊本県大会において、課題文朗読 大学生・大学院生の部で最優秀賞を受賞しました。現在、音源審査が行われており、審査を通過すれば全国大会に出場します。また、同大会にて現代文化学部2年生の宮本来実さんも、第3位を受賞しました。

また、宮本さんは「Panda杯 全日本青年作文コンクール2023」においても、佳作を受賞しました。



4年生 宮本愛香さん

尚絅子育て研究センター

第22回公開シンポジウムを開催しました

尚絅子育て研究センターでは、保育関係者や子育てに関心のある皆様に向けて、保育や子育ての質の向上をめざした学びの機会を提供しています。その1つとして、令和5年8月5日(土)、第22回公開シンポジウムを開催しました。国立大学法人静岡大学副学長、静岡大学教育学部教授の鎌塚優子先生から「ひとり一人の発達に寄り添った支援～発達の連続性を踏まえた保育・幼児教育のあり方とは～」をテーマに講演いただきました。幼児期からの支援の大切さ、困っている本人を取り巻く集団をどう育てていくのか、小学校に育ちを繋ぐことなどについて深く考えることができました。座談会では、本学こども教育学部の矢野教授の進行により、インクルーシブ教育・保育についてのまとめがあり、尚絅大学附属こども園からの報告がありました。参加者それぞれがインクルーシブ保育について問い続ける機会となりました。



「きくよう防災フェスタ2023」に参加しました

尚絅大学と菊陽町は、地域社会の発展と人材の育成などに寄与することを目的とし、包括連携協定を結んでいます。その協定に基づき、生活科学部の学生を中心とした献血サークル及び野外活動サークルが令和5年10月29日(日)の「きくよう防災フェスタ2023」で炊き出しボランティアと防災食の試食を実施しました。管理栄養士を目指す学生たちが菊陽町の防災意識を高めるイベントに参加することにより、菊陽町の地域づくりや防災について学ぶことができました。学生たちも新型コロナウイルスによる活動自粛のため、実地での機会がありませんでしたが、今回は貴重な社会経験になりました。



尚絅食育研究センター

10周年記念！「尚絅ガールズ 天草さくら鯛 レシピコンテスト」上位4点を学食で提供！

今年度の学食レシピコンテストは、10周年を記念して、「天草さくら鯛」をテーマとしました。応募総数179点の中から選ばれた優秀作品4点が学食で提供されました。学生の斬新なアイデアによるオリジナルレシピは大変好評でした。

この事業は、尚絅大学及び尚絅大学短期大学部同窓会、天草地区漁業士会の支援をいただいて実施しました。



鯛だし香るスタミナラーメン



アヒージョ風パスタ



季節の鯛めし定食



鯛と梅と大葉とチーズのはさみ揚げ

栖本水産加工場の見学

令和5年10月28日(土)、本学の学生が天草市の栖本水産加工場へ見学に行きました。この見学会は、天草地区漁業士会との連携事業の一環です。当日は生簀や加工場での加工工程の見学を行いました。養殖魚の現状や安全性についての講話もあり、熊本県の養殖業について知ることができ、安全な食の生産や魚食の普及について考える機会となりました。

